

# 令和4年度の事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

公益財団法人人権擁護協力会

## 1 事業の概要

### (1) 人権啓発活動

#### ア 中学校用の人権啓発冊子『種をまこう』の作成・配付等

中学生を対象に、人権教室等を実施して「人権の共存」の重要性を分かりやすく説明し、人権教育を行うことを目的として、人権啓発冊子『種をまこう』（中学校用）を一般財団法人日本宝くじ協会からの助成により29万5千部作成し、令和4年6月末までに全国の人権擁護委員協議会（303か所）に配付した。

#### イ 小学校中・高学年向け人権啓発冊子『種をまこう』の頒布

小学校中・高学年（4～6年生）を対象に、人権教室等を実施して「人権の共存」の重要性を分かりやすく説明し、人権教育を行うことを目的として、人権啓発冊子『種をまこう』（小学校中・高学年向け）を有償頒布した。

令和4年10月に在庫分を完売し、2万部を増刷して頒布した。

#### ウ 小学校低学年向け人権啓発冊子『種をまこう』の作成・頒布

小学校低学年（1～3年生）を対象に、人権教室等を実施して「人権の共存」の重要性を分かりやすく説明し、人権教育を行うことを目的として、人権啓発冊子『種をまこう』（小学校低学年向け）を有償頒布した。

令和5年度における日本宝くじ協会の助成による事業は、全国人権擁護委員連合会「種をまこう」編集委員会でも全面改定を行った『種をまこう』（小学校低学年向け）を作成・配付するため、日本宝くじ協会に助成の申請を行った。

#### エ 人権擁護推進団体等との連携の強化

(ア) 北朝鮮による拉致問題について、令和4年12月18日（日）、高松市において開催された「拉致問題を考える講演会とコンサートの集い」に協賛し、啓発活動に取り組んだ。

講演会 講師 蓮池 薫 氏

演題 「拉致問題と人権」～夢と絆を奪われて～

コンサート 綾川町立綾川中学校合唱部

高松第一高等学校吹奏楽部

出席者 理事長 中村浩紹

(イ) 全国人権擁護委員連合会と企業との連携について、令和4年11月14日（月）、名古屋市において開催された「全国人権擁護委員連合会と企業との連携シンポジウム」に協賛し、啓発活動に取り組んだ。

基調講演 講師 園部 晶子 氏（野村ホールディングス株式会社）

演題 「人権の未来とSDGs」

パネリスト 「企業はどのように人権に取り組んでいるのか」

パネリスト 浅田剛夫氏、原葉子氏、崎原淳子氏、大橋充人氏

コーディネーター 宮前隆文氏（愛知県人権擁護委員連合会副会長）

出席者 理事長 中村浩紹

- (ウ) 全国人権擁護委員連合会及びブロック人権擁護委員連合会と当会との共催による人権啓発研究大会の開催については、令和4年7月21日（木）、仙台市において開催された全国人権擁護委員連合会総会時の研究大会に、理事長中村浩紹が出席した。
- (I) 人権擁護活動に呼応するクリーンな団体等へ、会員入会・寄附等を依頼し、当会の財政の充実を図ることに取り組んだ。

## (2) 人権擁護活動に取り組む団体及び個人への支援

### ア 中学生に対する『書画で見る世界人権宣言』誌の贈呈

世界人権宣言の周知を図るとともに、人権意識の向上を図ることを目的として、全国中学生人権作文コンテストへの支援として各都道府県における地方大会入賞者に対し、副賞として『書画で見る世界人権宣言』誌1, 238冊を贈呈した（令和3年度1, 169冊）。

なお、本年度は、「世界人権宣言書画絵はがき」（7枚セット）を添えた。

### イ 東京都人権啓発活動ネットワーク協議会による啓発活動

東京都人権啓発活動ネットワーク協議会のメンバーとして、憲法週間行事、人権週間行事、「高校生の人権メッセージ」、「人権啓発ポスター交通広告」、及びスポーツ組織と連携協力した啓発活動等を共催・実施し、人権意識の普及高揚を図るとの本活動は、東京都人権啓発活動ネットワーク協議会の決定に基づき、次のとおり取り組んだ。

- (ア) 「高校生の人権メッセージ」作品の採点作業

令和4年8月17日（水）、選考・校正委員会

担当者 専務理事 東博之

- (イ) 「人権啓発ポスター交通広告」作品の採点作業

担当者 専務理事 東博之

- (ウ) 「都民の人権川柳」作品の採点作業

担当者 専務理事 東博之

- (I) 「スポーツ組織と連携協力した啓発活動」

令和4年7月17日（日）、味の素スタジアムにおける啓発活動

参加者 専務理事 東博之

### ウ 人権講演会への講師の派遣

人権擁護活動に取り組む団体等が開催する人権講演会等への講師派遣は、コロナ禍から依頼がない状況となった。

なお、令和5年度は、都道府県連合会主催の講演会への派遣依頼を受けている。

### (3) 人権啓発活動に携わる方々の能力開発及び人材育成支援

#### ア 人権情報誌『人権のひろば』の作成・配付

人権情報誌『人権のひろば』を年6回、奇数月に発行し、人権擁護活動に必要な知識やノウハウを提供するとともに、人権相談の参考としてカウンセリングの具体例、各地の人権啓発活動の紹介、新法令の解説等を掲載し、人権擁護委員等の能力開発・支援に供するための事業は、次のとおり発行している。

- |                          |              |
|--------------------------|--------------|
| ① 第145号（令和4年5月号）         | 令和4年4月28日発行  |
| ② 第146号（令和4年7月号）         | 令和4年6月30日発行  |
| ③ 第147号（令和4年9月号）         | 令和4年8月31日発行  |
| ④ 第148号（令和4年11月号）        | 令和4年10月31日発行 |
| ⑤ 第149号（令和5年1月号）         | 令和5年1月13日発行  |
| ⑥ <b>第150号</b> （令和5年3月号） | 令和5年2月28日発行  |

なお、令和5年3月号は、**第150号記念号**として、全国人権擁護委員連合会会長、関東人権擁護委員連合会会長からの寄稿を掲載するなど、特別企画により発行した。

#### イ その他の人権研修参考資料の作成・頒布

##### (ア) 『人権よろず困りごと相談－事例Q&A－』

『人権よろず困りごと相談－事例Q&A－』及び『人権よろず困りごと相談－事例Q&A－』〔続編〕を頒布し、人権擁護委員の職務執行に供した。

また、『人権のひろば』誌に広告を掲載して、法務局、人権擁護委員及び市区町村等の相談担当者への案内を行い、販売促進に取り組んだ。

##### (イ) 『人権擁護委員必携』（第六版）の頒布

昨年度改訂した『人権擁護委員必携』（第六版）を頒布し、人権擁護委員の適正な職務執行に供した。

##### (ウ) その他

人権に関する啓発資料（パンフレット等）を作成し、人権擁護委員等が行う啓発活動における利用に供する。

### (4) 人権関係情報の収集及び広報活動

#### ○ ホームページによる情報提供の充実

ホームページにより、当会の広報を積極的に行うとともに、2か月に1回、「人権のひろば」誌の内容等を更新し、人権関係記事等の充実を行うなどして人権思想の普及高揚を図った。

また、法務省ホームページに「第40回全国中学生人権作文コンテスト」の特設サイトが設けられたことから、当会のホームページから直接アクセスが可

能なリンクを表示した。

## 2 会議等

### (1) 役員会等

#### ア 理事会

令和4年5月30日（月）に、第1回定時理事会を招集して開催した。

第2回定時理事会は、令和5年3月1日（水）に招集して開催した。

#### イ 評議員会

令和4年6月20日（月）に、定時評議員会を招集して開催した。

#### ウ 監査

令和4年10月27日（木）、令和5年2月13日（月）に、中間監査を行い、令和5年5月23日（火）に、期末監査を実施した。

### (2) 『人権のひろば』編集会議等

ア 『人権のひろば』編集会議を、令和4年5月26日（木）、同年7月20日（水）、同年9月28日（水）、同年11月16日（水）、令和5年1月26日（木）、令和5年3月22日（水）に当会事務室において開催した。

イ 拡大編集会議は、例年3月に、地方編集協力員（8名）を招集して開催しているが、コロナ禍の状況を考慮し、紙上開催として「人権のひろば」の編集評価及び意見要望を書面により提出いただき、同集計結果を周知した。

## 3 附属明細書

一般法人法第123条第2項に定める附属明細書について、同法施行規則第34条第3項に定める事業報告の内容を補足する重要な事項はない。